

第14期 第7回白石区地域部会・運営部会

日時:2023年10月11日(水)10:30~12:00

場所:白石区役所 4F 会議室

○参加者

常盤野会長・服部副会長・主査佐藤氏・ビビット南郷田中氏・ワンオール赤杉氏・相談室きよサポ竹本氏・社協竹田氏・相談室あゆみ菅原氏・岸井氏・ピアデザイン稲垣氏

○欠席者

斎藤副会長・ラダーサポート宮西氏・相談室きよサポ岡崎氏・夢民戸田氏

1. 報告・連絡事項

* 部会長から

○9月27日 BCP 作成セミナー実施（アンケート集計済）

- ・参加者 18 名(当日 2 名欠席)
- ・感想として、全体的に前向きなコメントが多く、BCP 作成の参考になったという声が挙がる。
- ・事業所種別は、就労、児童が多く、参加層は管理者、サビ管等が多め。
- ・経験年数5年以上の方がほとんどであった。

➡ 参加した運営委員の振り返り

地域部会に関心を持ってもらうことも視野に入れ、参加。当日は、ファシリがグループを回る進行形式が良く、活性化していた。事業所同士での名刺交換なども自主的に行われ、グループの空気間も良かった。既に BCP 作成している方が2~3名いた。災害対策の意識を強く持っている方も多かった。

○運営委員会報告(委員会で話された内容)

- ・ワンオール ~ 札幌市外からの転居が多い話が挙げられる。
- ・中央区で行っている調査は、全市にアンケートを取って調査する必要性があるのではないか。
- ・ヘルパー不足の問題については、実態を調査し、札幌市へ提言できることが望ましい。
- ・ヘルパー利用につなげられない状況も存在する。
- ・事業者、相談室に実態調査をするところからはじめる必要がある。
- ・東区からも、まずは集約や調査が必要であること、ヘルパー自体の不足、ヘルパーの成り手がいない根本的な課題の声が挙がる。

* 子ども部会より

特段動きなし。

* 就労部会より

特段動きなし。年度内に集まる場を行う予定。

＊初任者基礎研修会より

9月21日に打合せを実施。常盤野会長参加。12月8日に2回目の研修を検討中で、10月中旬に再度打合せを行う予定。障がいの種別について、かみ砕いた研修内容にできると良い。講義と交流会を併せて考えている。

＊事例検討会より

9月14日に打合せを実施(放課後デイ・就労の方が参加)。事例提供することにハードルの高さ(恥ずかしい、こんなことで困っているのか、などの声に対して)を感じている。事例検討会自体をどう展開すべきか、難しさを感じている。

2. 協議事項

＊今後(次年度)の活動について

○事例提供者が出ない課題とは

- ・業種が様々で一つの事例を考えにくい。
- ・知識不足の指摘が怖い。
- ・児童デイなど、卒後関わりがなくイメージが持ちづらい。
- ・地域連携を行っているところは、できてしまうが故に、困り感へとつながりにくい。
- ・必ずしも本当の事例でなくてはならないか。
- ・就労 bar では、身近な困り感(こんなこと起きたらどうしよう、というような)が多く出ており、そういったところからテーマを出してみるのはいかがでしょうか。
- ・架空事例でも良いのでは。
- ・こんなときどうする？あるある事例～など。
- ・中央区でも同じ現象が起きている。講義を赤杉氏が行い、成人事例と児童に事例を分け、ベテランに進行、提供者は指名の形で行ったことがある。下準備がないと、中々提供者は上がらない。怖くない場である認識が大前提。
- ・児と者の中間(高校三年生位)の事例は関心が高そう。

○その他

- ・今年度後半の予定は現在のところなし。地域部会として何かすべきことはないか。
- ・サビ管、児発管が気軽に集まり、意見交流できる場が設けられないか。
- ・BCP 後のフォローアップとして、避難、連携などのテーマに取り組めないか。

3. その他

(1) 告知・PR

(2) 次月予定 11月8日(水)10:30~12:00 場所 4階 A 会議室

次回司会 齋藤 さん